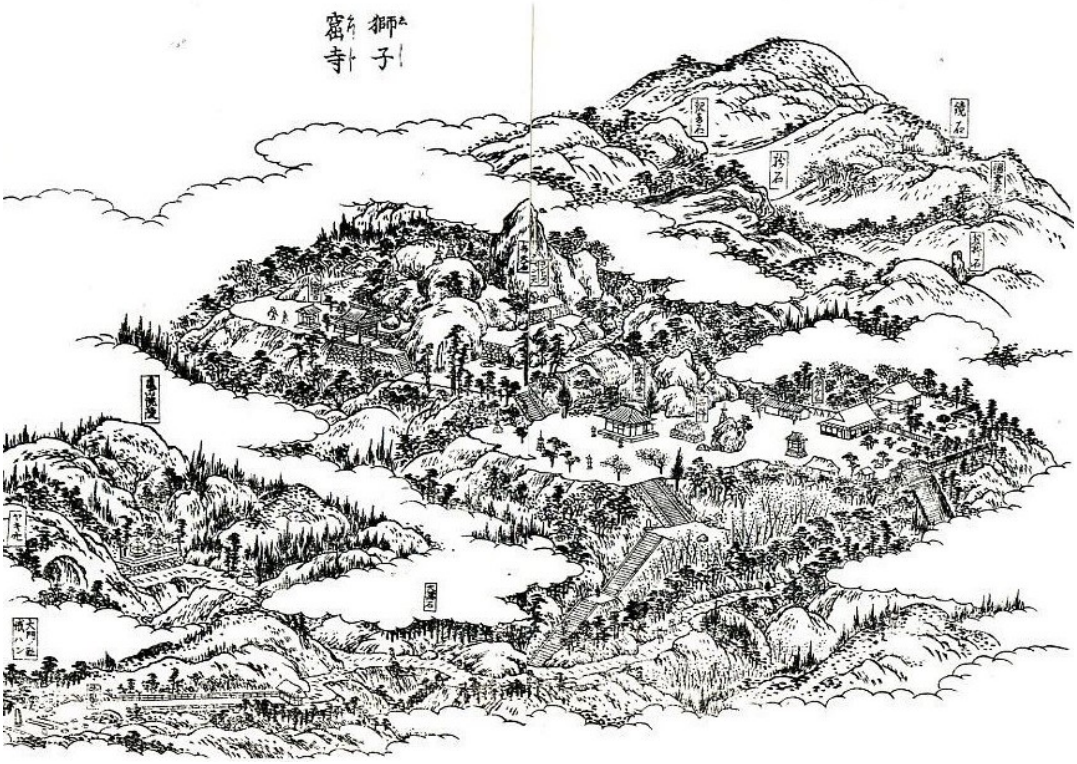
かたの瓦版

この時、交野は動いた

「亀山上皇さん獅子窟寺へ」



河内名所図会より

亀山天皇（第 90 代・1249 生）は後嵯峨天皇の第三皇子である恒仁（つねひと）親王が、兄・後深草天皇（1246-1259）の譲位を受けて 11 歳で即位した。

院政をしていた後嵯峨上皇が崩御（1272 年）すると、在位 16 年で皇子・世仁（よひと）親王に譲位し（後宇多天皇）、上皇となられた。

それより紀伊熊野神社に参詣して、しばらく滞在していたが、ここで叔父なる、静仁法親と親しくお話しされました。

当時、静仁法親は、熊野三社の検校であった。

ところが上皇のからだには病があって、それを治したいとのことをお話しされた。

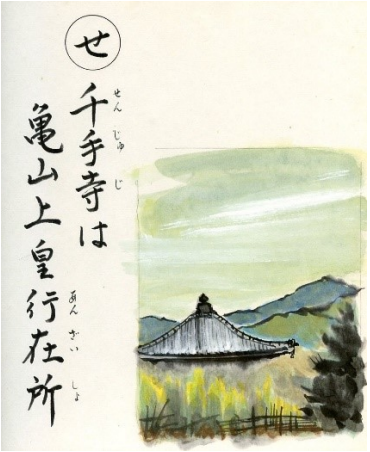
法親王はかって、河内交野の獅子窟寺に籠った時の薬師仏を思い出され、この仏に祈願されるようすすめられた。

この頃の病気、もちろん医薬はあったが、加持祈祷が大流行だったから、上皇もその気になり、熊野から河内交野の私市庄へ行幸されることになった。

そして獅子窟寺の山麓に行在所を設けて滞在し、その薬師仏に祈願されたところ、病気平癒となった。

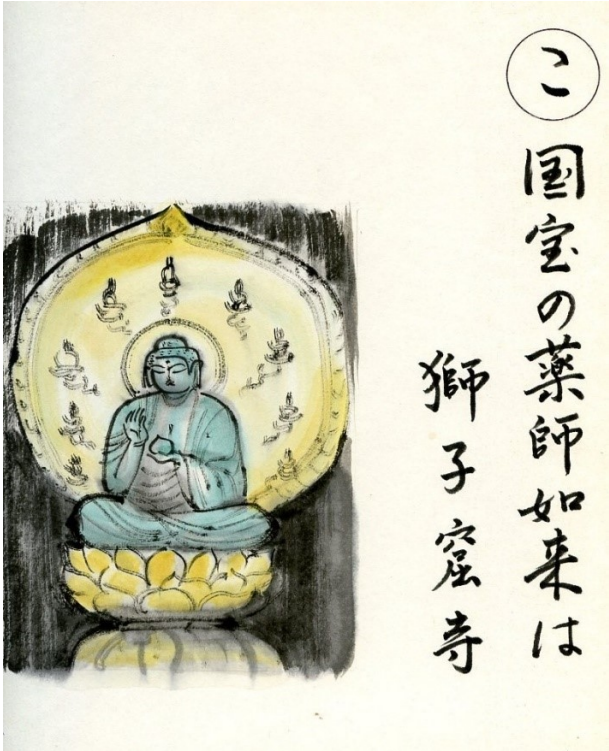
＊検校（けんぎょう）は、平安時代・鎌倉時代に置かれた荘官、社寺や荘園の監督役職名である。
室町時代以降、盲官（盲人の役職）の最高位の名称と定着した。

＊法親王とは日本の男子皇族が出家して僧籍に入った後に親王宣下を受けた場合の呼称 。



亀山上皇行在所　　亀山上皇駐蹕私市観音寺跡　　如意輪観音菩薩坐像　　聖観音菩薩立像

*行在所（あんざいしょ）・・・天皇の行幸(ぎょうこう)時の仮宮(かりみや)。行宮(あんぐう)が仮宮そのものをさすのに対し、行在所は抽象的に天皇の所在をさしたが、のちには同義に用いられた。
*駐蹕（ちゅうひつ）・・・天子が、行幸の途中で車をとめること。また、行幸先に滞在すること。



薬師如来坐像

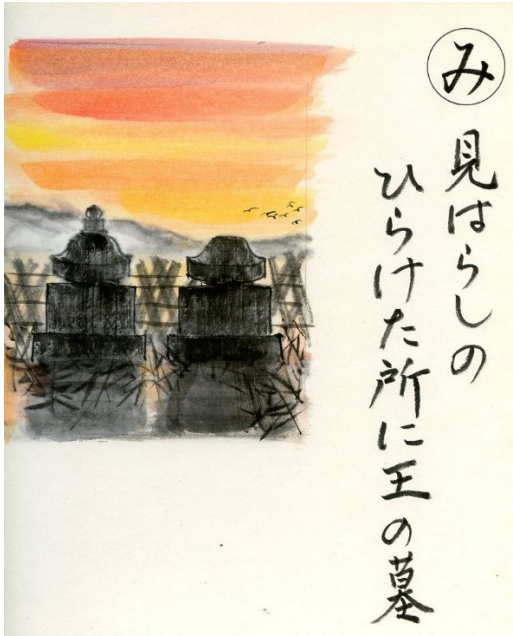
そこで上皇の喜びはひとかたならず、この仏恩に謝するために上皇が大檀那となり、これまで茅屋だったこの寺を再建し、寺領を寄進された。
また山麓の行在所はそのままだったが、後これを寺院とするよう許された。
そこにまつられていた千手観音を本尊として、千手寺とか観音寺ということになった。
その後上皇は出家して法皇となり、南禅寺に入って晩年をおくられたが、かつて河内交野の私市行在所で過ごした、薬師仏信仰の幾日を忘れられなかったのか、その孫にあたる後二条天皇（第 94 代）治世の頃になって、私市観音寺の寺観を整えて、寺田を寄進し、又獅子窟寺の石段の新築や伽藍の修復をされた。

薬師堂

亀山さんの石段

　それは嘉元二年（1304）のことだった。
今も私市にはいでというところがある。
いでは院田、すなわち亀山院寄進田である。
こうした亀山院の志によって、獅子窟寺と観音寺には、壮麗な伽藍ができあがり、この地方ではふかく院の徳を慕ったが、その翌嘉元三年（1305）57 歳で崩じられた。
そこで獅子窟寺としては、その寺域内、百重ヶ原の地をならし、亀山院とその皇后京極院佶子（きつこ）のために、二基の宝塔をたてて、永代供養することとした。

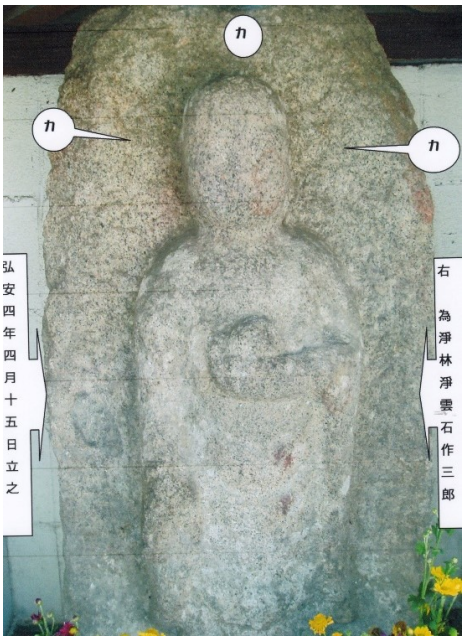
今日も寺の西北薮の中に現存して、一般に「王の墓」と呼んでいる



交野郷土史かるたより

亀山上皇の院政中

二度の元寇（文永・弘安の役）に遭遇した。
当時中国大陸を支配していた元（蒙古）が、1174 年（文永 11）、1281 年（弘安 4）の二度にわたって日本に侵攻したのである。
上皇は一身をもって困難に殉ずる覚悟で、伊勢神宮や石清水八幡宮に敵国調伏を祈願したが、蒙古軍は二度とも暴風によって撤退した。当時の人々は神風が吹いたと信じた。



　この時、私市共同墓地内の地蔵菩薩立像がつくられた。
中央写真、拓本（左）から弘安四年（1281）四月十五日立之、（右）からは為浄林浄雲石作三郎作と刻まれていた。
頭部周り三か所には梵字でカ・カ・カと彫っている。
これは、地蔵真言で・・・オン　カカカ　ビサンマエ　ソワカ
(訳)オン・・・帰命・供養などの意味であり、命の帰着点
　カカカ・・・お地蔵さん・お地蔵さん・お地蔵さん
　ビサンマエ・・・類（たぐい）まれない尊いおかた
　ソワカ・・・完成成就を願う気持ちを表す
一度訪れ真言を唱えてみれば！

おっさんのボソボソ
その 1・その時、院田の人たちは、いや上皇さんが来られる前の地名は?
その2・11 歳で即位されて 16 年の在位で譲位されたんですね。若くして上皇に
その3・静仁法親を訪ねて、熊野に行幸されたのですね
その4・すでに御病気になられていたのですね、なのに遠出なさるとは
その5・そこで、獅子窟寺のお薬師さんのことを聞かれ、帰路の途中に立寄られた
その6・山下に行在所を設けて滞在された、おしのびではないですね
その7・この時、私市村の様子はどうだったのでしょうか
その7・御病気であったので獅子窟寺に登らず麓から祈願されたのか
その8・それとも薬師仏に直接、祈願され御平癒となったのか、えらい急坂でっせ
その9・行在所→本尊・千手観音（現存しないがあったのか）→千手寺（如意輪・聖観音さん）
その 10・孫にあたる後二条天皇（第 94 代）治世の嘉元二年（1304）に、行在所付近の寺田を頂き、獅子窟寺には石段が出来た。（108 段）
その 11・その翌嘉元三年（1305）57 歳で崩じられた。
その 12・亀山院とその皇后京極院（きょうごく）子のために、二基の宝塔「王の墓」がありますが?
その 13・その時大阪府下、野の石仏で最年長の仏さんが生まれた、現在 741 歳です（笑）

*参考資料　交野町史